高知家

県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して
暮らし続けることができる高知県へ！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ご存知ですか

高知型 地域共生社会

あったか

ふれあいセンター



高知県子ども・福祉政策部地域福祉政策課

みんながつながり 支え合う地域づくりに向けて 「高知型地域共生社会」



? 地域共生社会ってなに？

個人や世帯の困りごとが複雑になっています

8050 問題
80代の母親と同居する50代のひきこもりの子。母親が認知症になり、生活が成り立たない…



ダブルケア
子育てをしながら親の介護もしている女性。頼れる親族もおらず、疲労が蓄積…



ごみ屋敷
一人暮らしで、ゴミ出しや力仕事が難しい高齢者。誰にも頼むことができず、ごみ屋敷に…



ヤングケアラー
病気の親の介護やきょうだいの世話をする中学生。家族のことなので誰にも相談できず、周囲から孤立…





誰でもちょっと したきっかけで
孤独・孤立に陥る かもしれません…

孤独や困難を抱える人がいます

- 孤独感があると答えた人の割合 **40.3%**（4割以上）
  〔出典〕人々のつながりに関する基礎調査（R4）（内閣官房孤独・孤立対策担当室）
- 困難を抱える方（世帯）が身近にいると答えた人の割合 **24.4%**（4人に1人）
  〔出典〕地域共生社会の実現に向けた意識調査（R3）（高知県地域福祉政策課）

気づいていても、どこに相談したら良いか分からないという意見も多くある



少子高齢化などにより地域のつながりが弱まっています

- 地域での支え合いの力が弱まっていると答えた人の割合 **43.4%(H28)▶53.9%(R3)**
  〔出典〕県民世論調査（高知県広報広聴課）
- 10年前と比べて地域活動の参加者が減ったと答えた人の割合 **68.6%**
  〔出典〕集落実態調査（R3）（高知県中山間地域対策課）

孤独・孤立を見逃すと、虐待や自殺 など、さらに深刻な事態に陥ることも…



だから！

「高知型地域共生社会」 の実現を目指します！

高知県では、みんながつながり、支え合う地域づくりに向けて、令和４年度か ら「高知型地域共生社会」の取り組みをスタートしました。
具体的には、誰一人取り残されることがないよう、まずは 行政が包括的な支 援体制の整備を「たて糸」としてしっかり進めます。
さらに、地域のつながりや支え合いの力の弱まりに対応するため、つながりを 実感できる地域づくりを、地域主体の「よこ糸」として進めます。
この「たて糸」と「よこ糸」で織りなす地域共生社会の拠点として あったかふれあいセ ンター を活用しながら、オール高知で「高知型地域共生社会」の実現を目指します。



高知型地域共生社会の実現イメージ

たて糸 分野を超えた「つながり」を意識した 行政の仕組みづくり



＋

支援につなげる



地域につなげる

よこ糸 つながりを実感できる 地域づくり

Point 地域でつながる支援ネットワーク
- 住民参加型の子育て支援や高齢者支援
- 地域の企業による見守り活動

Point 居場所や社会参加の場
- あったかふれあいセンター
- 集落活動センター
- 農福連携
- 子ども食堂 など

Point 日ごろからの地域のつながり
- 日々のあいさつや声かけ
- 清掃活動や地域のお祭り
- 避難訓練
- 登下校の見守り など

日々の挨拶や声かけなどの小さな行動も、困りごとを見逃さない支え合いの地域づくりのための大切な一歩です。





令和4年10月30日に知事・全市町村長・全社会福祉協議会会長が「高知家地域共生社会推進宣言」を実施！

「たて糸」と「よこ糸」で織りなす「高知型地域共生社会」の拠点

あったかふれあいセンター

あったかふれあいセンターの詳細は次のページへ！

民間企業・団体、民生委員児童委員協議会なども「高知家地域共生社会推進宣言」を実施！
支援のネットワークが拡がっています！



あったかふれあいセンターとは？

子どもから高齢者まで年齢や障害の有無にかかわらず、誰でも気軽に集い、必要なサービスを受けることができる高知型地域共生社会の拠点です。

あったかふれあいセンター創設の経緯

高知県は、人口減少や高齢化が全国に先行して進行し、地域の支え合いの力も弱まっています。また、県土の多くを占める中山間地域では、多様なニーズがありながらも、不採算などの理由で全国一律の基準による福祉制度サービスが参入しにくい状況にあります。

そこで、平成21年度から既存の福祉制度の枠組みを超えて、子どもから高齢者まで、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが1か所で必要なサービスを受けられる小規模多機能支援拠点として「あったかふれあいセンター事業」（実施主体：市町村）を創設しました。



あったかふれあいセンターでは、住民同士がつながり、気にかけ合う地域づくりのため、さまざまな取組を実施しています。

主となる取組

すべての拠点で実施



集い

誰もが日中自由に過ごすことのできる場所を提供しています。



相談

福祉サービスに関することから、生活上でのささいな困りごとまでさまざまな相談に応じます。



訪問

独居高齢者や障害のある方などの見守り訪問を実施しています。
また訪問時、必要に応じて困りごとなどの相談にも応じます。



生活支援

買い物や行政手続きのサポートなど、生活上でのちょっとした困りごとに対し、さまざまな生活支援サービスを提供します。



つなぎ

相談や訪問活動により把握されたニーズや課題を、関係機関と連携し必要な支援に結び付けます。

付加的な取組

拠点ごとに選択して実施



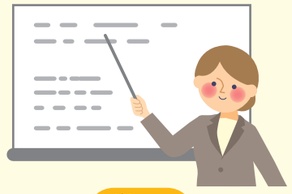
送る

あったかふれあいセンター利用者の送迎を行います。



交わる

あったかふれあいセンター利用者以外の地域の方や団体と交流活動を行います。



学ぶ

地域福祉に関することを中心に、日常生活で役立つさまざまな講座や研修会を行います。



預かる

見守りが必要な方の一時預かりを行います。



働く

障害のある方への就労支援や、高齢者の生きがいづくりのための収益活動などを行います。



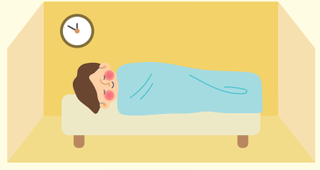
移動手段の確保

交通手段を持たない方の買い物や通院などの移動をサポートします。



配食

高齢者や障害のある方などへ食の確保や栄養改善を目的に配食サービスを行います。



泊まり

緊急時には、支援が必要な方を一時的に宿泊させ、見守りなどを行います。



介護予防

介護予防に関する講座や体操などを行います。



認知症カフェ

認知症の方やその家族、地域の方など誰もが参加できる集いの場を開催します。



子ども食堂

地域の方、子ども、保護者の方などが一緒に食事し、交流できる場を提供します。

現在、県内では**31市町村55拠点**（R5年4月1日時点）が　地域 のニーズや実情に応じ、さまざまな取組を実施しています。

※1 ★、● のマークは、拠点の所在地です。
※2 拠点とは別に、より身近な地域でサテライトを設置し活動している場合もあります。
※3 拠点ごとに活動内容は異なります。詳しくは裏表紙QRコードをご確認下さい。



預かり

あったかふれあいセンター やまびこ
（四万十町）

日中一人で過ごすことが難しい方や緊急時の一時預かり（子ども、障害のある方、高齢者など）を行っています。





集い

あったかふれあいセンター ふれあいおちあい（越知町）

健康体操や創作活動を実施し高齢者の集いの場として定着しています。また、子ども達も楽しめる「おもちゃ図書館」や「駄菓子屋」なども実施しています。



子ども食堂

あったかふれあいセンター にしきの広場（黒潮町）

毎月1回（第3水曜）に皆で料理をつくったり、一緒に食事をすることで、食の楽しみを伝えるほか、孤食になりがちな家庭への支援を行っています。





働く

南国市 あったかふれあいセンター
（南国市）

毎週2回ひきこもりがちな方へ『MORITO』を開設しています。そこでは一人一人に合わせた就労体験や就労に向けた訓練なども行っています。



交わる

奈半利町 あったかふれあいセンター
（奈半利町）

近隣の認定こども園の園児や小中学生などと交流し、あったかふれあいセンターを知ってもらう活動を行っています。
また、あったか塾（学習支援）や子ども食堂にも取り組んでいます。





高知型地域共生社会
について知りたい方



県内のあったか
ふれあいセンターに
ついて知りたい方



困りごとを相談したい方
（各市町村の相談窓口など）





発行
高知県子ども・福祉政策部地域福祉政策課
住　所　高知市丸ノ内１丁目２番20号
ＴＥＬ　088-823-9090　FAX　088-823-9207
E-mail　060101@ken.pref.kochi.lg.jp
Ｈ　Ｐ　https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060101/
令和５年10月